

\*\*\* ある日の育児日記から \*\*\*

\*\*\*\*\* (14)

佐藤 和代 \*\*\*



圭が水ぼうそうにかかりました。といっても、熱は37度台で、初日をのぞけばいたって元気。小さい子ほど軽くすむというのは本当ですね。問題は大人です。まず私が実家に電話をかけた。私、水ぼうそうやった? 「いろいろやったからね、すんできと思うけど...」と、心もとなり返事。次に敬(主人です)が電話をすると、「水ぼうそう? やってないねえ」こちらは断言されてしまいました。

これは大変だー、と言いながらも、うつるとは限らないよね、と軽く考えていた私たちです。圭

のブツブツが消えるころには、ほとんど忘れていたのです。

ところが、三週間後。敬が「どうもだるい」と会社を早退してきました。翌日にはすっかりブツブツが...。間違いない、水ぼうそうだ!

幸い(といっは敬に申し訳ないのですが)私は発病しなかつたので、二人そろって寝込むほめにはならなかつたものの、大人にもうつるものなんだ、と思い知らされました。



さて、二週間も仕事を休むことになって、毎日会社や取引先に電話をしていた敬。「ちくしょう、みんな笑うばかりで誰も同情してくれない!」とぼやきどおしました。